

なかとんべつの歩み

資料編

町の沿革	2
町のあゆみ	7
地勢と自然	9
人口	10
教育・文化	12
産業	14
生活環境	16
交通・治安・消防	18
行政・議会	19
財政	20

1. 町の沿革

1. 行政の沿革

その昔、北海道が蝦夷と称された時代を経て、明治政府は明治2年太政官布告をもって北海道と改称し、国郡の区画と名称を定めて1国86郡を設けた。

明治5年、函館などに支庁長を置き、札幌本庁に政務を統一した時代、宗谷地方は北見国と天塩国と合して宗谷開拓吏庁に属した。明治15年2月、開拓吏庁を廃して函館・札幌・根室の三県を置き、当地方は札幌県に属し宗谷郡役所に移された。明治19年、北海道庁を札幌に置いたが、これより先10年にこの地方は町村の編成をみて枝幸外4村を形成し同24年9月には宗谷・枝幸両郡戸長役場から分村、枝幸外3村戸長役場を開設している。

さて枝幸地方（当期中頓別地方はこの中にある）は、明治12年7月、宗谷郡役所管轄の宗谷戸長役場の派出吏員枝幸村駐在の谷梯東太が枝幸地方4ヶ村（枝幸・頓別・歌登・礼文）を併せ統轄係とされたのがこの地方行政の初めというべきである。以来、漁業の発展に伴い沿岸漁民の数も増えて村落の形態も整い、急速な新制度の設定など変遷を経て明治24年9月、枝幸・頓別・歌登・礼文戸長役場を開設、枝幸に役場庁舎を置いた。当中頓別地方は頓別村の一地方に属し、その後開発の進展に従い明治42年4月、戸長役場より昇格して北海道二級町村制による枝幸村を公称するに至った。以後、枝幸村は開拓の進展めざましく、鉄道の開通とも重なり急激な開発をみて、大正5年4月、頓別村を分村、頓別村はさらに大正10年4月中頓別村を分村し、それぞれ独立した自治体を形成したのである。

中頓別村が分村する前、枝幸村が二級町村制を敷いた時代、部長設置規則により、中頓別地方から農場主である道徳安二が部長（第10部長）に任命され、村会議員には薩摩農場管理人松山丈之助（明治43年）及び常本常吉（明治44年）が当地方を代表して村政に参画した。

中頓別地方は殖民区画の結果、頓別原野と称し、その中心をなした頓別原野36線は、現在の中頓別市街の一带をいい、大正5年に鉄道が開通した際、アイヌ語のトゥンベツ（沼、湖のある川の意）より転訛し、頓別川の中流にある意をもって駅名を中頓別とし、小頓別・上頓別も同意によって名付けられ、敏音知（ピンネシリヌブ

リ男神の山）・松音知（マツネシリプリ女神の山）の5駅が設置された。

付近部落は急激な開発をみて、大正10年4月頓別村から分村時に、中頓別市街地は諸官公庁、工場、事業所、商店街の都市的形態は母村を凌駕するに至った。村名は役場所在地で名寄以北稚内に至る宗谷線（旧天北線）随一の市街地として発展していた「中頓別」をとって村名とし二級町村制を実施した。

こうして、開拓殖民の急激な入植、木材の伐採とによって誕生した中頓別村も、その後の原木不足と全国的不況などにより転出者が続出（昭和3～7年）し、不況時代を経て純農村的形態を作り始めた。その後の経済恐慌の試練や戦争経済下の農村の使命をはたし、昭和21年5月一級町村に昇格、昭和24年11月町制を施行、現在に至っている。

2. 開拓の沿革

頓別原野の開発の歴史では、最初に頓別川の砂金の採取をあげなければならない。明治30年頃、頓別川の支流「ウソタン川」の上流に豊富な砂金が発見され、この頓別川一帯に砂金採取に入り込む者が急増した。採取者が順次上流に移るに従い、いよいよ有望となり、その上流に注ぐ「ペイチャン川」にも多数の採取人が入り込み「ウソタン川」流域と合わせその数16,000人を数え、一時は「東洋のクロンダイク」とまで喧伝された。

密採者もまた多く、「ペイチャン川」流域にはその数5,000人とまで噂され、密採時代を現出、明治33年には警部1名、巡査5名を配置し取締りに当たった。

しかし、両流域とも漸次産出額が衰えだし、明治39年までに大半が下山している。

当時これらの産金は、頓別川を下り浜頓別に出て浜伝えに枝幸に出るもの、あるいは「ペイチャン川」の上流「ポロヌプリ岳」の山麓を縦断して陸路枝幸に出るものと、いずれも枝幸が商いの中心となり盛況を極めた。往復10数日を要して往来していたもようである。

この「ペイチャン川」の砂金採取の場所は現在の兵安の奥地であり、その後も少数であるが「ピラカナイ川」「シウマルネツ」「シュルクオマナイ」「ワッカウエン」「トレロマツ」「一の沢」「間の川」「中の川」といった頓別川の支流での採掘が長く続き、あるいは中小の企業の営みもみられ昭和初期まで続いていた。

明治33、年頓別原野39線殖民区画が設定されたこと

により開拓が始まり、当時は全村うっそうたる原始林と熊笹におおわれてヒグマなどが横行していた。

明治 34 年、檜原民之助が砂金採取から狩猟に転じ頓別原野 36 線（現中頓別市街附近）に仮小屋を作り、翌年から農耕に従事したのが中頓別農業の始まりであり、本町開拓の始祖である。以来、国の植民の奨励により開墾に従事するもの年々その数を増してきた。

その入植の経路としては、

- (1) 枝幸から浜伝いに頓別川口に着き、川伝いに頓別原野 36 線に至ったもの。
- (2) 鉄道宗谷線名寄、咲来から徒歩で天塩ポンピラ（現中川町）を経て頓別川の上流「ピンネシリ」（現敏音知）「マツネシリ」（現松音知）を山越して頓別川を下り、36 線（現中頓別市街）に来たもの、またそのまま敏音知・松音知に定着したもの。
- (3) 咲来から頓別原野（旧歌登町）を経て上頓別原野（現小頓別、上頓別）に入植したもの。
- (4) 咲来から天北峠を越えて上頓別原野に入植したもの。

以上が主たる経路で、特にこの時代の頓別川は重要な交流機関で、浜頓別や敏音知方面からイカダ・アイヌ舟による物資の運搬往来がなされ今日の基を開いた。

頓別原野 36 線（現中頓別市街付近）の開拓

前記檜原民之助が 36 線（現中頓別市街）に入植してから開拓が始まり、その後次々と入植するものが続き明治 41 年には道徳安二が 500 町歩の払下げをうけて開拓団 7 戸 36 人を率いて入植した。これが道徳農場である。また、現藤井の始祖藤井清助もこの年に入植、中頓別地方の部長をした桑原政吉も同様に、この年に入植しているので、明治 40 年から 43 年までの間は中頓別開拓の先駆時代といえよう。

明治 40 年に入植した桑原弥市はアイヌの道案内により天塩ポンピラ（現中川町）から敏音知に山越し、頓別川をイカダで下り 36 線にたどりついている。

当時の開墾は原始林の中でヒグマと闘いながら伐倒し、それに火をつけ熊笹・曲竹に火を放ちつつ切開くものであったが、これが遅々として進まず、春先には必ず山火に見舞われて逃げまどうこともしばしばであった。樹木にはカバ、タモ、セン、エゾ松、トド松の類で樹齢 250 年～300 年におよぶ大木も多く、直径 1 メートル以上のものが無数に立ちふさが

り畜力もない人力だけの当時としては大変な作業であった。

このほか特に不便だったのは行政の連絡と郵便機関であった。枝幸村役場へ 14 里往復に 10 日もかかり、雨天の場合、河川の氾濫と併せてさらに日数を重ねた。郵便は、私設配達夫が枝幸海岸目梨泊局まで往復し 3～4 日に一度の配達であった。現藤井部落入口に居住した藤井清助兄弟が臨時郵便集配人としてこれにあたった。藤井の地名はここからついたものである。

教育について、斜内教育所所属の第 2 特別教授場が明治 42 年に 36 線（現中頓別）へ設置され、児童数 17 名で桜井周五郎が教鞭を執ったのが本町教育の始まりである。宗教について、43 年 6 月に内田滋敬が東本願寺大谷派説教所を 36 線に開設した。こういった開拓者入植に伴い、将来を見越して小さい商店を張るものもでてきた。この頃、枝幸村においては鉄道開通の議が起り、時の鉄道総裁後藤新平に請願、その年の 11 月に調査隊が入り現在の音威子府から歌登・枝幸を経て稚内に向かうか、音威子府から中頓別経由かを比較測量、その結果中頓別通過と決まった。

開拓者の家の構造は全て掘立小屋、草ぶきでできた説教所だけがささやかな木造土台つきであった。当時の戸数は 32 戸、人口 88 人（明治 43 年）で、氏名はつぎのとおりである。

(入地年)	(氏名)	(生業)
明治 34 年	檜原民之助	砂金堀兼農業
〃 40 年	桑原 弥市	入植して引返し、更に入植
〃 41 年	桑原 政吉	農 業
〃 〃	大沢政次郎	商業兼農業
〃 〃	鷹栖徳次郎	農 業
〃 〃	石神 甚吉	〃
〃 〃	龍山 善龍	砂金堀兼農業
〃 〃	道徳 安二	農 業
〃 〃	高橋 平蔵	〃
〃 〃	高橋 平治	〃
〃 〃	石黒庄太郎	〃
〃 〃	佐藤 弥作	〃
〃 〃	奥山 円蔵	〃
〃 〃	藤井 清助	〃
〃 42 年	石川伊三郎	〃
〃 〃	藤原藤五郎	〃
〃 〃	石川好太郎	〃

(入地年)	(氏名)	(生業)
明治 42 年	桜井周五郎	教員
〃 〃	十亀伊左衛門	農業
〃 〃	菅原梅五郎	〃
〃 〃	杉野 類太	〃
〃 〃	高取菊太郎	〃
〃 〃	高野 寅一	〃
〃 〃	近藤勝之助	〃
〃 〃	中山 友太郎	〃
〃 43 年	三村 石造	〃
〃 〃	前田 乗二	〃
〃 〃	伊藤 仁助	〃
〃 〃	内田 滋敬	僧侶
〃 〃	今野 熊治	農業
〃 〃	郷田藤次郎	〃
〃 〃	一野 菊蔵	〃

明治 44 年になり、浜頓別から頓別原野 14 線（現下頓別の下）まで開墾道路が進捗し、その後急激に人口が増加した。

農作物は麦類、豆類、馬鈴薯、キビ類がよくできたが、44 年には大洪水に見舞われ収穫前のなたねをはじめ農作物は全滅し、被害者は「ふき」と「川魚」で命をつないだという。

こうして開拓者は苦難に耐えつつ年を追って開墾の実をあげ、大正 5 年頃までには中頓別を中心とする沢々にまで鋤が入れられた。

(1) 藤井

藤井は、藤井清助の始祖に始まり、大正初期の八木農場 50 町歩、浅井農場 20 町歩の小作者菅原桑治、藤井清助、森川、山本、佐藤与吉、佐藤健二郎などによって開拓され、その後、昭和 9 年に千葉県と秋田県の移民 2 2 戸が大挙して入植した。

(2) 旭台、豊泉

ピラカナイ、ペイチャンは道德農場 500 町歩（後の久保農場）に山田徳次郎を管理人として 23 戸が開墾にあたった。

(3) 上駒

上駒は、頓別川の上り下りの渡舟場口の関係で中頓別市街と同時に開かれ、知駒内の沢には大正 3 年福島団体 8 戸が入植（柳沢福松、武田玉次郎、和泉誠、只野勝美、半谷栄七、天野大次郎、志賀隆治、末永有明）によって開墾された。

(4) 兵安、神崎

ペイチャン、モペイチャンは藤井に連なる土地を持った八木農場 120 町歩の開拓者 6 戸（門野、遠藤、岡本、朝日、松尾など）によってその下流の部分が開かれ、同時に上流の部分は福島県団体（石神宅から上道宅）及び岩手県団体（上道宅より奥）の高橋、佐藤、太田などによって開拓、また根本農場の開拓、（森川、田村、若森、沓沢、遠藤、高橋など）も行われた。神崎は、昭和 7～8 年秋田県、奈良県移民 15 戸（津川、伊藤、遠藤、栗林、沓沢、渡辺、茶園、中島、斉藤、高橋、土岐、三上、小山内、北原、高山）の主力と村内入植者によって開かれた。

(5) 寿

寿は頓別川本流に沿い中頓別市街とともに開かれたもので、道路の設定も他の地方より早く、したがって開拓も最も古く、個人入植で明治 41 年佐藤弥作、明治 43 年一野菊蔵明治 44 年斉藤宥賢が最も古く、続いて上原、高橋、藤井、小野などが入植している。

中頓別市街を中心とした近隣部落の開発状況は上記のとおりであるが、特に中頓別 36 線地方は急速に発展し、大正 2 年 9 月道道が中頓別に開通、さらに大正 5 年には鉄道宗谷線が開通するに及び、それまで開墾のため焼却してた巨大な樹木も中村卯太郎造林部・柳沢造材部・村山金作造材部などの有力事業所によって伐開され、製材事業も盛んになり、相次いで沼田、伊藤、新宮、平田、三井などの木工場が操業した。

また、豊泉には製麻工場も設置され、このように急速に発達した中頓別は以後多少の消長はあったが地方交通、経済、行政、文化の上からも本町の中心であり、南宗谷の中心都市として今日に及んだ。

敏音知、松音知地方の開拓

明治41年、村上専太郎が天塩から枝幸へ向かう途中、マツネシリが農耕適地であることを認めて鹿児島県人鮫島慶彦ほか2名と薩摩農場の基を開いている。この薩摩農場は現在の松音知全域と敏音知の一部、上駒藤井にまたがる広大な農場で、その面積500町歩にもおよび、初期の開拓者として田農、藤田、小島、佐々木、畠山、十倉、上平、九良、川辺、高橋などによって開発されたものである。彼らはいずれも鉄道開通前後の大正初期の入植者で、それ以前には郡之治なる者以外に農業に従事したものはいない。

明治40年頃松音知にも相当数の採取者が入った。この地方の始祖ともいべき松山丈之助は二つの鉱区を持ち多数の採取人を入れプラチナの採掘も行い多量の産金をみたらしい。大正4年、密採者の取締まりのために請願し、巡查部長1名、巡查2名が配置された。

前記の薩摩農場管理人である松山丈之助は、明治43年に枝幸村村議会議員として当地方代表を担い、村政に参画している。この農場はその後大正7年に小樽市の藤山要一に売却して藤山農場として継続され、昭和22年の農地解放まで続いた。農場支配人西岡久平と、さらに管理人として常本勇松が松音知に駐在した。

薩摩農場時代の開発は、一方に農地開拓、他方には森林の伐採によって迅速に進められ、付近に続く伊藤亀太郎所有の山林、及び三井木材などの優秀な山林と共に造材事業が行われた。薩摩農場関係では村山造材部（枝幸町）によって伐採が行われ年間30万石以上の造材事業が10年以上も続き敏音知、松音知は当時異常な発展を遂げたのであった。

敏音知の奥地ワッカウエン（現豊平）は宮城県団体、熊本県団体で開かれ、宮城団体は大正4年姉齒、板摺、山口、田中、畑本、千葉など7戸が入植した。熊本団体は大正3年熊本県移民家入平次郎ほか8名が開拓に従事したものである。この熊本団体より奥地ペンケ及びパンケの山越え約12キロの山裏側にポンピラ（現中川町）の市街があるワッカウエンは本町発祥の頃、天塩地方との通路として意外に早く開かれた。

鉄道は中川町より先に敏音知、中頓別を通じる宗谷線（旧天北線）が開通したのでポンピラ方面への物資の中継地として敏音知及びその道路は重要な役割を果たし、大正11年ポンピラを通ずる現宗谷線が開通するまでこの状態が続き、敏音知市街が形成されていった。

上頓別、小頓別の開拓

(1) 上頓別地方

明治45年6月、橋本正義、宗像惣重、鈴木金五郎、山口勝治の4名が福島県田村郡から入植したのを始まりとし、大正2～3年にかけて福島県三春の移民52戸が一斉に入植、さらに鉄道開通と同時に古谷農場（古谷彦市）が開設され小作16戸が入植し炭焼きに従事、また平野農場（平野右左エ門、管理人船越宗太郎）には28戸の小作人が入った。

昭和9年には新上頓別原野に福島、秋田県移民6戸が入植した。これらの移民小作人の多くはその後木材の伐採終了と共に炭焼き状態も底をつき、もとの郷里に帰り、または小作地を放棄、他に転じたものも多数であった。この地方の造材は美深の宇野左エ門によって行われ盛況を極めた。

(2) 岩手地方

明治45年1月、岩手県から藤倉ほか16名が集団移民として特定地の貸付をうけて入植したのが始まりでその地名となる。大正2、3年には吉田ほか8名が咲来から音威子府に至り天北国境を山越えし、小頓別から岩手に入植している。

(3) 秋田、小頓別地方

明治45年9月、秋田県由利郡から集団移民55戸（团长斉藤利吉）が入植し、秋田の名がついた。昭和9年混合移民6戸がこの奥地に入り、同年栄地区にも11戸が入植したがこれは木材の伐採終了とともにほとんど転出、現在は無人になっている。

小頓別は大正3年11月、鉄道開通で幌別6線（現歌登）の玄関口的要衝をなして急激な戸数の増加をみた。岩手・秋田両地区の中間に駅舎を建設、頓別6線との物資の集散、木材の伐採搬送等で商店、旅館、飲料店が軒を連ね、本町第二の市街を形成した。

む す び

中頓別市街地形態が行われ、明治 42 年 10 月、枝幸村の行政部長が発布。大正 10 年頓別より分村し中頓別村として二級町村制を実施する。当時、中頓別市街地は宗谷線随一の盛況を呈し、警察署・営林区署などの行政官庁の設置も相次ぎ商店・工場・金融などの設置も整い全村戸数 1,600 戸人口 1 万人以上を数えた。その後開拓地立木の伐採量減少、全国的不況により転出者が続出し、村勢の衰退をみる。昭和 6～7 年にはその極限に達し戸数 950 戸、人口 5,200 人にまで激減したが、これは植民地においてたどるべき一過程とみられ、農業に転向するものも多く、着実に度を加え、純農村の形成をもたらした。以来、農林業をもって町の基本政策としてきたが幾多の冷害・水害・不況に繰り返し遭遇しつつ成長をとげ、戦時中は戦争経済下の農村の使命をはたし、昭和 24 年 1 月 1 日町制を施行した。

本町の立地条件からみて、昭和 31 年頃から従来の馬鈴薯単作から酪農に転換、これを本格的に進め、純酪農地帯として整備が進んだ。近年は農産物自由化など乳価の下落と後継者不足などにより、農業を取り巻く環境は厳しく、相次ぐ離農に頭を抱えている。

過疎化と産業構造の変革は、地方にも大きな打撃を与え、町の前途に暗い影を落としている。特に基幹産業である林業は、構造的不振が続き、昭和 57 年から 61 年にかけて町内の主要木材企業 3 社が倒産、深刻な雇用不安を起こした。また、唯一の本州企業である森永乳業株式会社の生産部門が閉鎖され、地域の経済に大きな打撃を与えた。

平成の時代に入ってもなお、林業を取り巻く情勢は好転せず、製材・割り箸・パルプなどの工場が縮小あるいは廃業に追い込まれていき、国有林野事業の縮小も地域に与える影響は多大であった。森林保全の観点から造林事業は継続して行われているが、後継者不足は農業と同様に深刻な問題となっている。

大正 5 年の開通以来、住民の足として交通の要となってきた天北線は、平成元年 4 月廃止、5 月から代替バスが運行している。

一時は、7 千人を超えた人口も行政官庁の合理化、若者の都市流出と高齢化の進捗などにより、平成 28 年 1 月では 1,800 人を割り、管内の 11 市町村のうち最下位の規模となっている。

厳しい風土、経済環境の中にあっても、当町は「福祉

と教育の町」を標榜し、老人ホーム長寿園、町立の知的障害者福祉施設天北厚生園などを有し社会福祉の充実を図っている。また、ふれあいスポーツ広場や青少年柔剣道場を備え、若い町民の教育文化の向上にも力を注いでいる。

過疎に歯止めをかけるため、本州の縫製企業を誘致し、定住人口の施策として旭台地区に定住促進団地を整備し、単身者住宅の建設も進めた。

交流人口増加の施策としては、敏音知地区を都市住民と地域住民との交流の拠点として観光開発を進めてきた。

平成 10 年にはデイサービスセンター、在宅介護支援センターの開設、平成 11 年には、一般廃棄物埋立処理施設、下水道の供用開始など、高齢社会に対応した快適な生活環境の向上を図り、地域の活性化を目指して努力している。

これからは、人口減少社会に立ち向かい、未来をあきらめず、豊かで元気なふるさとづくりを進めていく決意である。地域の活性化のため、町民の英知を結集し将来に向かって町勢の飛躍を祈念するものである。

(文中 敬称略)

- 2.3 中頓別小学校新校舎落成。
- 2.4 受精卵移植で初の和牛誕生。
- 2.10 小寺縫製（後にテンブル株式会社と改称）と企業誘致調印。
- 〃 広島県東野町と姉妹縁組調印。
- 2.11 道指定天然記念物中頓別鍾乳洞内整備。
- 2.12 中頓別バスターミナル落成オープン。
- 3.3 誘致企業「テンブル株式会社・中頓」操業開始。
- 3.4 天北峠道路決壊事故により全面通行禁止（～5月15日）
- 4.4 ピンネシリ温泉宿泊施設オープン。
- 5.2 町内初3階建の独身者住宅「メモリアルハイツ」完成。
- 5.4 町の行政機関が完全週休二日制へ。
- 5.7 ピンネシリオートキャンプ場オープン。
- 6.6 旭台定住促進団地、第1次分募集開始。
- 6.12 サハリン州ノビコボ村より訪問団来町
- 7.1 敏音知小学校新校舎落成。
- 7.4 長期滞在施設コテージオープン。
- 8.10 敏音知道の駅（交流プラザ）開業。
- 9.6 中頓別町史発刊。
- 9.8 大雨で3億2千万円の被害。
- 9.11 田邑憲静氏に名誉町民の称号を贈る。
- 10.4 デイサービスセンター、在宅介護支援センター落成。
- 10.7 まちづくり活動の拠点、夢中人倶楽部ハウス完成。
- 11.3 松音知小学校閉校。
- 11.4 一般廃棄物埋立処理施設、特定環境保全公共下水道処理施設落成。
- 11.9 開拓90年町制施行50周年記念式典挙行。
- 11.11 中頓別小学校創立90周年記念式典
- 11.12 宗谷中部地区農業改良普及センター落成。
- 12.9 中頓別農業高等学校創立50周年記念式典。
- 12.12 介護福祉センター落成。
- 13.10 敏音知コミュニティセンター落成式。
- 14.2 こども館落成。
- 14.12 南宗谷消防組合中頓別支署新庁舎落成。
- 15.5 農業体験施設「体験農園オガル」完成。
- 15.10 死亡事故発生により交通事故死ゼロ2830日でストップ。（H8.1.4～H15.10.3）
- 15.11 「南宗谷地域任意合併協議会」設立。
- 16.2 「南宗谷地域任意合併協議会」解散が決定。
- 16.2 中頓別づくりセンター（役場庁舎）新築落成。
- 16.3 中頓別町と浜頓別町の「天北二町合併協議会」が設立。
- 16.4 「天北二町合併協議会」に猿払村が加入し、「天北三町村合併協議会」へ移行。
- 16.10 旧役場庁舎が解体。
- 16.11 「天北三町村合併協議会」から猿払村が脱退し、解散。
- 17.8 道教委が公立学校適正配置計画を発表し、中頓別農業高等学校が平成20年3月をもって廃校とされた。
- 18.3 敏音知小学校が廃校 90年の歴史に幕。
- 18.8 利用者減少、設備老朽により公衆浴場「黄金湯」営業終了。
- 19.2 小頓別製箸工場完成。
- 19.3 町立天北厚生園が社会福祉法人南宗谷福祉会に移管。
- 19.4 中頓別保育所・幼児クラブが北海道より「中頓別町認定こども園」に認定。
- 20.3 中頓別農業高等学校が閉校となり57年の歴史に幕。
- 20.4 旧敏音知小学校跡を「そうや自然学校として開設。
- 21.3 小頓別小中学校が廃校し93年の歴史に幕。
- 21.7 NHK及びかんぽ生命による夏期巡回ラジオ体操会中頓別大会に500人が参加し全国に中継。
- 21.9 平成20年度決算で実質公債費比率が早期健全化団体基準超が確定。
- 21.10 町開拓100年町制施行60周年記念式典を挙行。
- 〃 中頓別小学校創立100周年記念式典を挙行。
- 21.11 テレビ民放4社の地上デジタル放送開始。
- 23.9 字藤山に良質な粗飼料生産のためのTMRセンター落成。町内農家10戸で経営。
- 23.10 札幌から移住してきた渡辺由紀子さんが公衆浴場「黄金湯」を再開。営業開始。
- 24.1 字兵安地区から字上駒地区に施設を移転し平成24年2月1日に障害者支援施設天北厚生園としてスタートした。
- 24.3 新規就農者第1号村田克明氏（神奈川県出身）に奨励金及び補助金を交付した。
- 24.4 第7期中頓別町総合計画実施。（2012年～2021年まで）
- 24.12 暴風雪、大雪による農業関係施設被害発生（4件）
- 25.3 交通事故死ゼロ3500日達成（5月16日）「町民交通安全大会」を町民センターにおいて開催、約150人が出席した。
- 25.10 天皇皇后両陛下主催の秋の園遊会が東京元赤坂の赤坂御苑で開催され、野邑智雄町長夫妻が招待され出席した。
- 25.10 中頓別旭台上駒地区無線共聴施設整備を実施。国の施策により平成23年7月24日アナログ放送が終了。テレビがデジタル化となる。
- 26.5 中頓別町松音知の国道で、死亡事故が発生し、死亡事故ゼロ3874日で途切れる。（H15.10.4～H26.5.12）
- 26.8 5日正午までの24時間降水量が125.5ミリ（気象台アメダス）を記録。
- 26.9 浜頓別町、豊富町、中頓別町の3町による戸籍電算化共同事業により、本町で1109現戸籍を電算化改製。事故簿1戸籍。電算化戸籍の証明発行を開始。
- 26.10 一般廃棄物埋立処理施設用地内に「中頓別有害鳥獣等処理施設」完成。鉄骨造平屋建て165.21㎡。建設費2千3百万円。
- 27.4 第14代中頓別町長・野邑智雄氏任期満了により退任。（4期16年）
- 27.5 第15代中頓別町長・小林生吉氏就任。

3. 地勢と自然



位置

中頓別町は、北海道の最北に位置する宗谷総合振興局管内に属し、管内の東南部、北緯45度線上に位置しています。東は枝幸町、北は浜頓別町、西および西南方には、幌延町と上川支庁管内の音威子府村に接しています。

地勢

中頓別町は山々に囲まれた山岳部にあり、中央部には敏音知岳・松音知岳がそびえ、西部は天塩山脈に連なる山々、東部はホロヌプリ岳に連なる北見山地の裾野に位置しています。これらの山々に水源を発する多くの支流を合わせて頓別川と兵知安川を形成。町の中央部を北流し、市街地南部で合流した後、頓別川としてオホーツク海にそそいでいます。

この流域が平坦地および段丘地帯となり、酪農を主とする農業地帯および集落・市街地を形成しています。

位置と面積

(中頓別町役場)

東経 142° 17' 12"

北緯 44° 58' 11"

面積 398.51 km²

■土地利用

平成28年5月1日固定資産税概要調書

総面積	畑	宅地	山林	牧場	原野	雑種地	その他
39,851ha	3,445	76	31,257	1,135	1,543	1,127	1,268

■月別平均気温(°C)

気象庁アメダスの数値

年次	月別	月別平均気温(°C)												年平均	降水量(mm) 年間総数
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
平成 11年		-7.6	-8.8	-5.4	2.9	8.9	15.4	17.4	21.4	16.3	8.8	1.9	-5.6	5.5	1,694
12年		-8.0	-12.5	-5.1	2.5	10.0	13.9	19.8	21.3	16.0	7.8	-0.8	-7.2	4.8	1,493
13年		-11.5	-11.8	-4.7	4.1	9.8	13.9	18.1	18.0	13.3	8.1	1.6	-8.1	4.2	1,495
14年		-8.7	-4.6	-1.9	6.2	10.4	12.7	16.4	16.7	14.0	8.3	0.3	-7.9	5.2	1,353
15年		-8.7	-11.7	-4.3	4.5	10.4	14.5	14.3	18.2	14.3	8.2	2.3	-4.6	4.8	1,054
16年		-8.0	-6.3	-3.3	2.3	11.3	15.5	17.8	18.5	15.2	8.5	3.5	-5.2	5.8	1,316
17年		-8.8	-10.3	-3.2	2.5	7.2	15.7	17.6	20.3	15.0	9.5	1.6	-7.5	5.0	1,231
18年		-10.4	-7.7	-2.7	1.1	9.7	12.6	18.5	21.5	14.7	7.8	2.4	-5.4	5.2	1,531
19年		-9.1	-7.7	-3.6	1.8	8.0	15.2	17.1	20.3	15.2	7.6	0.5	-5.4	5.0	1,042
20年		-10.6	-10.0	-1.1	4.9	8.7	12.9	18.7	18.1	15.0	9.3	0.5	-2.4	9.0	929
21年		-5.1	-8.0	-1.8	4.1	11.6	13.8	15.4	18.5	14.2	8.4	1.0	-6.1	5.5	1,255
22年		-6.0	-8.2	-3.8	2.2	8.0	16.9	18.9	22.1	16.1	8.3	2.1	-3.0	6.1	1,615
23年		-10.0	-6.3	-4.0	3.7	6.9	14.0	18.3	20.7	16.2	8.5	2.2	-5.8	5.4	1,128
24年		-10.3	-11.5	-4.9	2.4	9.3	13.0	17.9	20.1	18.4	8.8	2.1	-6.8	4.9	958
25年		-10.6	-9.8	-3.2	3.2	7.7	14.5	20.0	19.7	15.3	9.0	2.5	-2.7	5.5	1,091
26年		-10.3	-8.2	-4.0	3.3	9.9	14.6	19.5	19.2	14.1	8.0	2.3	-6.7	5.1	1,201
27年		-6.7	-4.8	0.5	5.0	10.5	12.7	18.4	18.4	14.8	7.6	1.2	-3.3	6.2	1,172
平均		-8.8	-8.7	-3.3	3.3	9.3	14.2	17.9	19.6	15.2	8.4	1.6	-5.5	5.5	1,268

4. 人口

■人口動態と世帯および人口の推移

10月1日付け住民基本台帳

区分 年次	人口と世帯					自然動態						社会動態						計	
	年	総人口	男	女	世帯	出生		死亡		増減		転入		転出		増減		増減計	
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成 11	平成11年	2,639	1,306	1,333	1,128	9	11	19	13	▲ 10	▲ 2	109	67	118	99	▲ 9	▲ 32	▲ 19	▲ 34
12	平成12年	2,572	1,269	1,303	1,113	5	8	20	16	▲ 15	▲ 8	75	72	97	94	▲ 22	▲ 22	▲ 37	▲ 30
13	平成13年	2,537	1,235	1,302	1,126	6	14	19	6	▲ 13	8	73	75	94	84	▲ 21	▲ 9	▲ 34	▲ 1
14	平成14年	2,513	1,232	1,281	1,114	11	13	11	18	0	▲ 5	76	61	79	77	▲ 3	▲ 16	▲ 3	▲ 21
15	平成15年	2,464	1,206	1,258	1,081	9	8	14	21	▲ 5	▲ 13	68	64	89	74	▲ 21	▲ 10	▲ 26	▲ 23
16	平成16年	2,393	1,173	1,220	1,046	11	5	17	17	▲ 6	▲ 12	58	47	85	73	▲ 27	▲ 26	▲ 33	▲ 38
17	平成17年	2,353	1,150	1,203	1,042	7	4	7	13	0	▲ 9	62	53	85	61	▲ 23	▲ 8	▲ 23	▲ 17
18	平成18年	2,284	1,109	1,175	1,014	13	6	17	12	▲ 4	▲ 6	52	52	89	74	▲ 37	▲ 22	▲ 41	▲ 28
19	平成19年	2,177	1,056	1,121	970	2	6	23	19	▲ 21	▲ 13	48	35	80	76	▲ 32	▲ 41	▲ 53	▲ 54
20	平成20年	2,106	1,024	1,082	945	7	2	13	9	▲ 6	▲ 7	57	37	83	69	▲ 26	▲ 32	▲ 32	▲ 39
21	平成21年	2,028	981	1,047	934	4	6	11	8	▲ 7	▲ 2	31	23	67	56	▲ 36	▲ 33	▲ 43	▲ 35
22	平成22年	2,015	982	1,033	943	7	5	10	11	▲ 3	▲ 6	47	43	43	51	4	▲ 8	1	▲ 14
23	平成23年	1,978	973	1,005	942	7	3	24	14	▲ 17	▲ 11	52	32	44	49	8	▲ 17	▲ 9	▲ 28
24	平成24年	1,941	958	983	939	4	4	18	12	▲ 14	▲ 8	41	29	42	43	▲ 1	▲ 14	▲ 15	▲ 22
25	平成25年	1,918	948	970	940	4	4	13	12	▲ 9	▲ 8	44	33	45	38	▲ 1	▲ 5	▲ 10	▲ 13
26	平成26年	1,882	938	944	937	6	6	15	20	▲ 9	▲ 14	42	45	43	57	▲ 1	▲ 12	▲ 10	▲ 26
27	平成27年	1,817	898	919	918	3	3	30	10	▲ 27	▲ 7	49	25	62	43	▲ 13	▲ 18	▲ 40	▲ 25

■地区別人口及び世帯数の推移

10月1日付 住民基本台帳

区分 地区名	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
弥生	19	3	20	5	16	5	20	5
寿	27	11	29	12	15	9	18	10
旭台	229	82	218	84	187	80	199	100
中頓別	1,587	752	1,514	742	1,378	694	1,203	645
上駒	142	99	80	52	95	8	124	43
豊泉	29	10	25	10	55	35	27	10
兵安	126	10	127	11	22	10	18	6
神崎	7	3	4	2	4	2	4	3
藤井	36	12	29	11	28	11	23	12
松音知	73	19	74	19	46	15	36	14
敏音知	59	20	40	12	40	17	37	16
豊平	27	6	22	4	21	5	16	5
上頓別	50	18	44	18	35	13	31	12
小頓別	134	61	104	55	57	35	48	33
秋田	21	5	19	4	12	3	11	3
岩手	6	2	4	1	4	1	2	1
栄	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,572	1,113	2,353	1,042	2,015	943	1,817	918

■年齢階級別人口の推移

国勢調査

階級別	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0歳～4歳	39	49	88	45	38	83	34	24	58	22	23	45
5～9	45	50	95	42	52	94	38	35	73	27	21	48
10～14	57	61	118	43	41	84	34	42	76	33	32	65
15～19	95	56	151	44	41	85	21	26	47	18	20	38
20～24	54	48	102	31	27	58	24	14	38	27	12	39
25～29	76	57	133	65	55	120	24	27	51	39	20	59
30～34	60	62	122	77	54	131	65	55	120	35	30	65
35～39	53	59	112	59	69	128	65	51	116	63	46	109
40～44	81	73	154	54	51	105	51	51	102	62	53	115
45～49	85	99	184	75	73	148	51	44	95	54	54	108
50～54	109	117	226	80	103	183	67	70	137	56	48	104
55～59	104	103	207	101	113	214	79	92	171	68	68	136
60～64	105	89	194	95	94	189	84	96	180	68	77	145
65～69	89	67	156	89	80	169	82	82	164	73	91	164
70～74	64	85	149	79	69	148	78	69	147	70	73	143
75～79	69	98	167	59	79	138	66	59	125	59	60	119
80歳以上	52	108	160	81	131	212	98	176	274	94	157	251
合計	1,237	1,281	2,518	1,119	1,170	2,289	961	1,013	1,974	868	885	1,753

■産業分類別就業者の推移

国勢調査

職業別	平成12年		平成17年		平成22年	
	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男
第1次産業	229	134	208	132	167	110
農業	186	99	180	105	150	94
林業・狩猟業	43	35	26	25	15	14
漁業・水産養殖業			2	2	2	2
第2次産業	279	183	180	117	115	77
鉱業	5	5	3	3	2	2
建設業	172	135	102	85	72	62
製造業	102	43	75	29	41	13
第3次産業	771	417	679	360	604	305
電気・ガス・水道業	5	4	5	3	3	2
運輸・通信業	38	32	22	16	39	27
卸売・小売業	146	65	102	45	98	40
金融・保険・不動産業	14	4	7	4	13	7
サービス業	470	236	461	226	365	167
公務	98	76	82	66	81	59
分類不能					5	3
合計	1,279	734	1,067	609	886	492

5. 教育・文化

■社会教育団体

平成28年3月1日現在

区 分	名 称	会員数	備 考
青少年団体	スポーツ少年団 柔道、剣道、卓球、フットサル	36	単位団体 4
	中頓別町農協青年部	14	
	商工会青年部	11	
	4Hクラブ	6	
	中頓別町子供育成連絡協議会		休会中
婦人団体	中頓別町農協女性部	23	
	中頓別町フレッシュミズの会	10	
	中頓別町商工会女性部	32	

■スポーツ少年団

平成28年5月1日現在

団 体 名	構 成 人 員	備 考
柔道少年団	6	
剣道少年団	7	
卓球少年団	7	
フットサル少年団	15	

■社会体育施設

平成28年5月1日現在

施 設 名	設 立 年 月 日	規 模 ・ 設 備 ・ 面 積
町民体育館	昭和 41.7.30	バレーボール、卓球、バトミントンなど 665㎡
町民センター	53.8.30	大ホール、研修室(3室)、和室(2室)、調理室、レクリエーション室
創作活動施設(旧幼稚園)	49.11.30(H13.11.28更新)	平屋建444㎡
寿テニスコート	56.11.30	2面
ふれあいスポーツ広場(旧野球場)	57. 6.18(H13.11.28更新)	野球、サッカー、バックネット、管理棟、トイレ、駐車場など
寿スキー場	58.12. 5	スキーリフト1基608m、面積1,400a ロッジ198㎡、圧雪車1台
山村水泳プール	59. 8.27	屋根ビニールシート張り 896㎡
青少年柔剣道場	59.12.15	柔道、剣道 130㎡
寿パークゴルフ場	平成 13.5.22	全36ホール

■児童・生徒数の推移

学校基本調査

	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
中頓別小学校	99	98	94	86	82	86	87	98	101	97	91	96	92	83	77	76	64	52
小頓別小学校	11	16	10	13	19	12	9	9	8	9	0	平成21年廃校						
敏音知小学校	8	9	9	9	10	8	6	0	平成18年廃校									
松音知小学校	0	平成11年廃校																
小 計	118	123	113	108	111	106	102	107	109	106	91	96	92	83	77	76	64	52
中頓別中学校	78	70	62	60	57	49	48	42	41	39	44	45	44	38	42	41	43	43
小頓別中学校	11	10	8	4	6	5	5	4	4	7	0	平成21年廃校						
小 計	89	80	70	64	63	54	53	46	45	46	44	45	44	38	42	41	43	43
合 計	207	203	183	172	174	160	155	153	154	152	135	141	136	121	119	117	107	95

■中学校卒業後の進路状況

学校基本調査

	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
卒業生数	22	28	22	22	21	20	19	19	13	18	13	11	16	17	11	13	14	13
全日制	21	28	20	22	21	20	19	19	13	18	13	11	16	17	11	13	14	13
定時制																		
各種学校	1		2				1											
第1次産業																		
第2次産業																		
第3次産業																		
計																		
無業者																		

■町内学校の概要

平成28年5月1日現在

	学級数	教員数	園児・児童・生徒数		
			男	女	計
中頓別町認定こども園	5	7	25	23	48
中頓別小学校	6	12	32	20	52
中頓別中学校	4	15	17	26	43
合 計	15	34	74	69	143

※学級数には、特別支援学級も含まれています。

■地域づくりに取り組む団体

平成28年5月1日現在

グループの名称	設立年月	主な活動内容
中頓別町スピン会	H 1.11	羊毛製品の加工研究・開発
夢や	S63. 6	一村一品(砂金の缶詰づくり)の取り組み
砂金の会	S62. 5	砂金掘体験場の開催 砂金まつりの開催
しゃかりき組	H 1. 3	スポーツフェスティバルの取り組み イベントでの出店など
中頓別町商工会青年部	S44. 2	各種イベント、フェスティバルの開催など ふるさと意識の普及や地域経済活性化の取り組み
北緯45度エンデューロ大会 を成功させる会	S63.11	H16解散(計16回の開催)

■文化団体

平成28年5月1日現在

名 称	会員数	内 容
やまなみ吟社	7	俳句
日本詩吟学院岳風会	15	詩吟
囲碁愛好会	10	囲碁
茶道サークル	9	茶道
彩北絵画クラブ	5	美術
陶芸サークル	12	陶芸
あかねカラオケサークル	14	音楽
絵手紙クラブ	5	美術
しあわせカラオケ会	10	音楽
寿カラオケサークル	15	音楽
図書室ボランティアサークル 「このゆびと～まれ♪」	7	絵本読み聞かせ
スピン会	8	手芸
ひよっこクラブ	13	幼児交流

■体育団体

平成28年5月1日現在

加入団体名	構成人員
バレー協会	26
バスケットボール協会	18
野球連盟	20
柔道協会	12
剣道連盟	14
スキー協会	23
サッカー協会	20
パークゴルフ協会	56
走友会	10
ゲートボール協会	15
卓球愛好会	7
ミニバレーを楽しむ会	20
バドミントン愛好会	12
ミニバレー愛好会	16
育児婦人運動部	7
スポーツしない会?	10
卓球協会	10

6. 産業

■家畜飼養頭羽数と搾乳量

区分 年次	乳用牛					豚	鶏	馬	めんよう	肉用牛	調査名 基準日
	飼育頭数	内 訳		搾乳量(t)	牧草地(ha)						
		24箇月未満	24箇月以上								
平成 11	4,430	χ	χ	21,601	3,156	χ	χ	χ	χ	459	農業基本調査 H11.2.1
12	4,277	1,164	3,113	20,091	3,123	χ	χ	χ	χ	431	農林業センサス H12.2.1
17	3,700	χ	χ	19,751	χ	χ	χ	χ	χ	x	" H17.2.1
22	3,571	2,674	897	18,017	2,883	χ	χ	χ	χ	216	" H22.2.1
27	3,215	2,192	1,023	16,672	3,067	χ	150	χ	χ	42	" H27.2.1

※ 搾乳量はJA中頓別町調査による数値

■産業別事業所数・従業者数

区分 年度	平成10年		平成12年		平成16年		平成18年		平成21年		平成24年		平成26年	
	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数	事業者数	従業者数
農林水産業	2	45	3	37	1	20	2	8	3	33	2	30	6	35
鉱業														
建設業	18	183	18	205	16	138	16	115	13	90	12	81	10	68
製造業	6	55	5	43	4	30	4	30	2	7	4	17	4	18
電気ガス水道業			1	3			1	3	2	5	1	3	2	5
運輸通信業	3	7	5	33			2	4	4	14	4	13	3	11
卸売小売業	59	181	57	202	39	148	39	116	32	105	31	99	29	113
金融保険業	1	7	1	7	1	7	1	6	1	6			1	6
不動産業							1	4	1	3				
サービス業	45	263	62	451	57	257	63	470	59	450	39	312	55	438
公務			9	99			9	80	9	73	16	60	9	70
総数	134	741	161	1,080	118	600	138	836	126	786	109	615	119	764

※平成12年から経済センサスに移行

■商業の推移

区分 年度	総 数			うち小売業			一般飲食店		
	商店数	従業者数	商品販売年額(万円)	商店数	従業者数	商品販売年額(万円)	商店数	従業者数	商品販売年額(万円)
平成 14	41	139	216,657	26	85	154,869	15	54	61,788
16	41	152	247,475	27	85	190,088	14	67	57,387
19	37	134	144,462	23	82	96,471	14	52	47,991
24	29	78	79,238	18	χ	χ	11	χ	χ
26	22	68	164,568	14	36	χ	8	32	χ

■観光関連施設

施設名	設備・機能	入込客数	開設年度	連絡先
中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園	散策道、管理棟、鍾乳洞	4,675	平成16年	6-1129
砂金掘り体験場	ゴールドパン・カッチャ貸し出し、管理人常駐	336	昭和63年	7-8510
寿公園	パークゴルフ場、テニスコート、ゴルフ場、遊具	3,526	昭和56年	6-1339
道の駅「ピンネシリ」	24時間トイレ、コインランドリー	42,661	平成8年	7-8510
そうや自然学校	宿泊室10名×3室、多目的ホール、自然体験備品設置、スタッフ常駐	1,255	平成20年	8-3611
寿スキー場	ロッジ、食堂、レンタルスキー、リフト使用	1,026	昭和55年	6-1890

「χ」は秘密保護のため数字が秘匿されているもの

■農業振興関連施設

施設名	設備・機能	開設年度	連絡先
食彩工房もうもう	農産・畜産・乳製品加工	H13年度	01634-6-2211
アグリパーク体験農園オガル	農業体験、苗の直売	H15年度	01634-6-1966

■製造事業所・従業者・製造業出荷

工業統計12月31日現在

区分 年度	事業所数	従業者数	給与総額 (万円)	原材料使用額 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
平成 10	5	39	4,810	×	×
11	5	39	4,680	×	×
12	4	30	3,790	×	×
13	4	28	3,410	×	×
14	3	25	5,670	10,743	22,482
15	3	21	6,384	10,826	23,842
16	3	22	5,726	10,548	23,123
17	3	20	5,942	10,036	22,091
18	3	25	5,441	6,959	18,299
19	3	18	4,022	7,094	20,648
20	3	18	3,953	4,361	16,484
21	2	12	×	×	×
22	2	12	×	×	×
23	2	12	×	×	×
24	2	12	×	×	×
25	2	12	×	×	×
26	2	10	×	×	×

■農家数・農家人口

区分 年次	農家数				農家 人口	農業従事者 (150日以上)	調査名 基準日
	総数	専業	一種兼業	二種兼業			
平成 11	76	52	15	9	324	183	農業基本調査 H11.2.1
12	73	55	11	7	308	176	農林業センサス H12.2.1
17	68	×	×	×	×	×	" H17.2.1
22	52	41	10	1	135	125	" H22.2.1
27	46	34	10	2	118	114	" H27.2.1

■森林面積

区分 年度	面積(ha)				
	計	天然林	人工林	無立木地	その他
平成 11	33,514	23,642	8,731	443	698
12	33,572	23,632	8,762	478	701
13	33,572	23,578	8,789	505	701
14	33,530	23,582	8,804	443	701
15	33,331	23,593	8,828	421	489
16	33,354	23,552	8,844	469	489
17	33,357	23,542	8,870	454	491
18	33,450	23,535	8,909	515	491
19	33,434	23,516	8,937	490	491
20	33,436	23,846	8,996	484	110
21	33,430	23,922	9,016	383	110
22	33,432	23,934	9,008	385	106
23	33,404	24,012	9,016	270	106
24	33,419	24,002	9,049	263	106
25	33,420	24,000	9,053	261	106
26	33,448	24,039	9,097	205	106

7. 生活環境

■社会福祉施設等の設置状況

平成27年10月1日現在

分類	施設名	開設年度	備考
老人福祉施設	養護老人ホーム 長寿園	昭和50年2月	
	特別養護老人ホーム 長寿園	昭和51年2月	
	短期入所生活介護事業所 長寿園	昭和56年4月	
	デイサービスセンター 長寿園	平成10年4月	
	在宅介護支援センター長寿園	平成11年4月	
	老人福祉センター	昭和53年7月	
知的障がい者(児)福祉施設	障害者支援施設 天北厚生園	平成24年9月	新体系移行
	一体型共同生活事業所 すまいる	平成21年4月	第1ふれあいホーム
		平成22年8月	第2ふれあいホーム
		平成24年1月	第3ふれあいホーム
	多機能型事業所 DO	平成23年4月	
児童母子家庭施設	中頓別町認定こども園	平成28年4月	平成19年4月 道の認定
保健福祉施設	中頓別町介護福祉センター	平成12年12月	
	中頓別町地域包括センター		
	中頓別町介護予防支援事業所		
福祉相談窓口	中頓別町社会福祉協議会	昭和54年3月	

■宿泊施設

名称	収容人数	構造・面積	附属施設	連絡先 市外局番 01634	備考
ホテル望岳荘	30名	平屋建	研修室 大浴場 集会室 食堂 売店	7-8111	ピンネシリ温泉併設
ピンネシリオートキャンプ場		2,500㎡	キャンピングカーサイト(5) 一般カーサイト(10) 芝生公園テントサイト(26) 野外卓・野外炉完備	7-8510	同敷地内
ピンネシリ コテージ	Aタイプ 8名 Bタイプ 12名	平屋建 2棟 2階建 2棟	バス・トイレ・冷蔵庫等調理器具・テレビ 電話・テーブル・ベット・寝具・暖房完備		
ライダーハウス(みつばち村)	50名	平屋建	水道 洗濯機 トイレ	6-1111	利用期間 7/1~9/30
石川旅館	29名	2階建		6-2355	部屋数 8
そうや自然学校	30名	平屋建	多目的ホール・研修室・調理室・体育館	8-3611	会議、合宿利用可能

■公衆浴場

名称	入込客数		入浴料金	連絡先	備考
ピンネシリ温泉	平成26年	12,817人 ※	大人(中学生以上) 380円 子ども 160円	7-8111	ホテル望岳荘併設
	平成27年	13,287人 ※			
黄金(こがね)湯	平成26年	7,658人	大人 400円 中高生 200円 小学生以下 大人同伴で無料	6-2300	地域食堂あり 週3回(火金日)
	平成27年	7,650人			

※北海道観光入込調査集計データ

■道路状況

平成28年4月1日現在

区分	路線名	延長 km	道路			舗装	
			改良済	未改良	改良率	延長	舗装率
			km	km	%	km	%
国道	275号	34.6	34.6		100.0	34.6	100.0
道道	豊富中頓別線	12.5	12.5		100.0	12.5	100.0
	美深中頓別線	18.4	18.4		100.0	18.4	100.0
	兵安上頓別停車場線	8.4	8.4		100.0	8.4	100.0
	中頓別停車場線	0.3	0.3		100.0	0.3	100.0
	小頓別停車場線	0.1	0.1		100.0	0.1	100.0
	枝幸音威子府線	0.7	0.7		100.0	0.7	100.0
町道	208路線	201.6	87.5	114.1	43.4	68.7	34.1
	合計	276.6	162.5	114.1		143.7	

■医療施設等

平成27年10月1日現在

	医師数	薬剤師	看護師	準看護師	病床数
町立国保病院	2	2	13	3	50
町立歯科診療所	1				
瀬尾診療所	1				

■公営住宅等建設状況

平成27年10月1日現在

建設年度	公営住宅	特定公共賃貸住宅	独身住宅	団地名等
平成元年				
平成2年				
平成3年				
平成4年			19	メモリアルハイツ
平成5年		4		敏音知特定公共住宅
〃	4			西団地
平成6年	4			〃
平成7年	6			〃
平成8年	4			〃
平成9年	6			〃
平成10年		8		旭台単身者住宅
平成11年				
平成12年	12			あかね団地
平成13年	12			〃
平成14年	4			〃
〃		8		あかね特定公共住宅
〃	4			小頓別団地
平成15年	12			あかね団地
平成16年	6			〃
平成17年	6			〃
平成18年				
平成19年				
平成20年				
平成21年				
平成22年				
平成23年				
平成24年				
平成25年				
平成26年				
平成27年				

(数字は戸数を表す)

■水道施設状況

中頓別町簡易水道事業計画

施設名	区分	設置年度	計画給水人口	計画給水量	給水区域
中頓別簡易水道		56年	2,820人	2,213m ³	全域

■下水道施設状況

中頓別町特定環境保全公共下水道事業計画

施設名	区分	設置年度	計画人口	計画汚水量	計画区域
中頓別町特定環境保全公共下水道		平成5年	1,480人	563m ³	102.0ha

8. 交通・治安・消防

■交通事故発生件数と死傷者数

北海道警察本部調

年次	区分	件数	死者	傷者
	11			
平成	11	7	0	11
	12	3	0	4
	13	3	0	3
	14	7	0	11
	15	5	1	7
	16	4	0	6
	17	5	0	6
	18	6	0	6
	19	3	0	3
	20	5	0	7
	21	3	0	8
	22	3	0	3
	23	1	0	4
	24	1	0	2
	25	0	0	0
	26	2	2	2
	27	1	0	1

■火災発生件数及び損害額

消防年報

年次	区分	火災発生件数	損害額(千円)
	11		
11	3	5,356	
12	4	13,722	
13	1	1,800	
14	0	0	
15	1	3,438	
16	1	106	
17	1	5,211	
18	1	16,921	
19	2	380	
20	0	0	
21	1	1,772	
22	1	2,561	
23	1	1,296	
24	0	0	
25	2	424	
26	1	28	
27	3	29,082	

■救急出場件数及び搬送人員

消防年報

年次	区分	出場件数	搬送人員
	11		
11	64 (1)	66	
12	67 (2)	69	
13	51 (5)	55	
14	66 (2)	67	
15	70 (2)	73	
16	78 (5)	78	
17	72 (2)	70	
18	80 (5)	80	
19	83 (3)	80	
20	58 (1)	59	
21	92 (3)	93	
22	85 (6)	81	
23	95 (5)	92	
24	85 (5)	81	
25	74 (4)	71	
26	95 (6)	90	
27	99 (5)	96	

※出場件数欄中()は不搬送件数

■罪種別刑法発生及び検挙数

枝幸警察署調

罪種別	年次	平成	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27		
総数	発生件数	0	3	6	8	17	11	10	9	5	7	1	4	9	5	3	6	5	
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	4	1	0	4	0	1	9	6	0	3	2	
	検挙人員																		
凶悪犯	発生件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	検挙人員																		
粗暴犯	発生件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	検挙人員																		
窃盗犯	発生件数	0	3	3	5	16	8	7	6	4	7	1	4	7	2	2	4	2	
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	1	9	3	0	3	0	
	検挙人員																		
知能犯	発生件数	0	0	3	2	1	3	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	検挙人員																		
その他	発生件数	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	1	2	1	1	2	
	検挙件数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	検挙人員																		

9. 行政・議会

■歴代首長

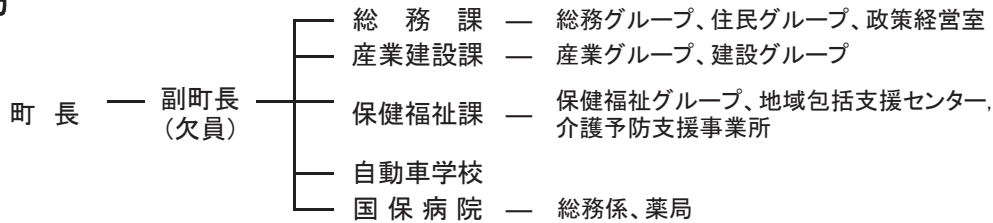
歴 順	氏 名	就 任	退 任
1	森井 清	大正10年4月	大正12年2月
2	岡 恵舜	大正12年5月	大正15年7月
3	近藤 定志	大正15年9月	昭和3年5月
4	村賀多良明	昭和3年5月	昭和6年3月
5	島田長太郎	昭和6年4月	昭和7年3月
6	佐藤友太郎	昭和7年3月	昭和21年11月
7	浅水 辰蔵	昭和22年4月	昭和30年4月
8	野邑 清美	昭和30年5月	昭和46年4月
9	朝日 春吉	昭和46年5月	昭和54年4月
10	谷野 文衛	昭和54年5月	昭和62年4月
11	山上 登	昭和62年5月	平成11年4月
12	野邑 智雄	平成11年5月	平成27年4月
13	小林 生吉	平成27年5月	現 在

■歴代議長

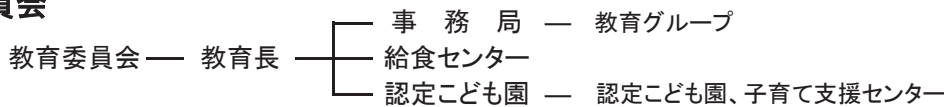
歴 順	氏 名	就 任	退 任
1	谷口 雅雄	昭和22年4月	昭和28年7月
2	片山 栄	昭和28年8月	昭和30年4月
3	宮崎 留一	昭和30年5月	昭和34年4月
4	片山 栄	昭和34年5月	昭和38年4月
5	高橋久太郎	昭和38年5月	昭和40年4月
6	谷口 雅二	昭和40年5月	昭和46年4月
7	柳澤 福壽	昭和46年5月	昭和52年4月
8	十倉 實	昭和52年5月	昭和54年4月
9	高橋 久之	昭和54年5月	昭和57年5月
10	片山 昌英	昭和57年5月	昭和60年4月
11	大西 博	昭和60年5月	昭和62年4月
12	星川 希雄	昭和62年5月	平成3年4月
13	大西 博	平成3年5月	平成7年4月
14	星川 希雄	平成7年5月	平成11年4月
15	石神 忠信	平成11年5月	平成23年4月
16	村山 義明	平成23年5月	現 在

■行政機構

町長部局



各委員会



町議会 — 事務局

農業委員会 — 事務局

選挙管理委員会 — 事務局 (総務課)

監査委員 — 事務局 (町議会事務局)

一部事務組合

南宗谷消防組合 — 中頓別支署 — 庶務グループ、予防グループ、警防グループ
南宗谷衛生施設組合

■町議一覧

平成27年5月8日現在

議席番号	氏 名	職 名			性別	職 業	生 年 月 日	党派	当選回数
1	佐藤 奈緒	議 員			女	酪 農 業	昭和48年12月14日	日本共産党	1
2	長谷川克弘	議 員	議 運		男	会 社 役 員	昭和43年3月31日	無所属	1
3	西浦 岩雄	議 員			男	獣 医 師	昭和25年4月16日	無所属	1
4	宮崎 泰宗	議 員			男	会 社 役 員	昭和58年6月16日	無所属	2
5	細谷 久雄	議 員	議 運 委 員 長		男	会 社 役 員	昭和33年3月29日	無所属	2
6	東海林繁幸	議 員	議 運	常 任 委 員 長	男	無 職	昭和13年12月9日	無所属	4
7	星川三喜男	副議長	議 運		男	酪 農 業	昭和30年1月11日	無所属	5
8	村山 義明	議 長			男	会 社 役 員	昭和21年1月2日	無所属	9

□議員任期 平成27年5月1日～平成31年4月30日

□議席番号 平成27年5月8日中頓別町議会臨時会で指定

□職 名 (1)平成27年5月8日、第2回中頓別町議会臨時会で当選(選任)

(2)議長、副議長、各委員会委員長の任期は、議員の任期満了まで

(3)議運～議会運営委員会、常任委員会は全議員で構成

9. 財政

■年次別決算状況

(千円)

年度		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
会計別																			
一般会計	歳入	4,603,124	5,385,584	5,379,434	4,703,071	4,909,390	4,315,045	3,838,923	3,667,097	3,359,826	3,319,697	3,635,381	3,802,959	3,742,448	3,813,531	3,729,977	3,480,647	3,607,342	
	歳出	4,506,483	5,244,170	5,310,987	4,679,628	4,861,185	4,302,960	3,812,290	3,647,089	3,355,480	3,258,310	3,546,949	3,688,557	3,598,899	3,702,565	3,591,363	3,415,764	3,472,519	
	差引	96,641	141,414	68,447	23,443	48,205	12,085	26,633	20,008	4,346	61,387	88,432	114,402	143,549	110,966	138,614	64,883	134,823	
病院事業会計	歳入	640,720	612,205	567,974	497,341	475,103	450,782	497,308	508,380	456,752	429,645	481,063	480,626	462,365	469,272	474,465	527,292	556,831	
	歳出	633,679	605,147	562,965	550,075	511,297	495,341	527,747	535,871	453,751	424,240	469,358	470,332	443,365	459,272	455,363	503,393	533,086	
	差引	7,041	7,058	5,009	▲ 52,734	▲ 36,194	▲ 44,559	▲ 30,439	▲ 27,491	3,001	5,405	11,705	10,294	19,000	10,000	19,102	23,899	23,745	
国民健康保険事業特別会計	歳入	240,796	268,800	243,948	251,199	279,650	267,930	285,862	286,763	346,463	310,940	335,646	307,654	315,384	306,608	299,300	269,557	330,192	
	歳出	236,744	254,471	238,217	244,509	273,340	252,519	283,813	280,171	345,922	294,566	335,019	303,213	298,374	279,411	291,971	256,727	311,977	
	差引	4,052	14,329	5,731	6,690	6,310	15,411	2,049	6,592	541	16,374	627	4,441	17,010	27,197	7,329	12,830	18,215	
介護保険事業特別会計	歳入	—	178,556	204,488	193,367	189,879	187,438	187,216	194,700	182,115	182,119	180,944	188,899	186,871	191,158	200,264	220,229	227,428	
	歳出	—	174,679	199,735	188,617	178,520	181,966	175,078	186,584	174,948	178,003	171,007	181,580	186,863	184,839	199,785	219,355	219,258	
	差引	—	3,877	4,753	4,750	11,359	5,472	12,138	8,116	7,167	4,116	9,937	7,319	8	6,319	479	874	8,170	
後期高齢者医療事業特別会計	歳入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25,803	23,653	26,727	26,837	27,999	27,103	26,248	26,919	
	歳出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25,761	23,021	26,422	26,833	27,995	27,101	26,245	26,916	
	差引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	632	305	4	4	2	3	3	
水道事業特別会計	歳入	295,959	241,934	205,735	255,510	199,572	198,306	104,607	101,486	97,615	85,432	79,392	136,496	79,426	78,174	84,489	76,962	82,332	
	歳出	295,830	241,773	205,448	252,669	197,917	195,669	104,578	101,421	97,497	85,025	78,817	135,423	78,729	77,526	84,182	76,497	81,943	
	差引	129	161	287	2,841	1,655	2,637	29	65	118	407	575	1,073	697	648	307	465	389	
下水道事業特別会計	歳入	722,269	230,880	285,653	157,123	151,633	142,769	137,304	136,340	127,213	120,911	115,521	100,909	171,351	98,285	94,354	224,702	77,718	
	歳出	722,183	230,804	285,587	157,013	151,548	142,630	137,223	136,252	127,104	120,816	115,318	100,636	171,077	97,912	93,875	223,681	77,199	
	差引	86	76	66	110	85	139	81	88	109	95	203	273	274	373	479	1,021	519	
自動車学校事業特別会計	歳入	72,828	87,625	60,830	48,874	47,064	46,835	46,015	46,887	41,922	32,741	31,072	31,326	35,645	24,540	32,007	42,573	30,178	
	歳出	72,713	87,524	60,755	48,776	46,413	42,308	37,457	39,135	35,153	30,445	31,031	27,085	35,592	24,203	31,862	42,460	30,024	
	差引	115	101	75	98	651	4,527	8,558	7,752	6,769	2,296	41	4,241	53	337	145	113	154	
知的障害者福祉事業特別会計	歳入	335,632	335,810	302,927	291,391	306,596	307,319	307,111	408,362	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	歳出	335,585	335,724	302,879	291,278	296,520	294,535	287,744	408,362	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	差引	47	86	48	113	10,076	12,784	19,367	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
老人保健事業特別会計	歳入	447,213	399,030	426,888	399,758	357,551	355,144	348,744	336,049	349,407	41,264	2,770	622	—	—	—	—	—	
	歳出	447,110	398,936	426,816	393,890	354,024	355,079	348,676	335,992	339,546	38,743	2,505	622	—	—	—	—	—	
	差引	103	94	72	5,868	3,527	65	68	57	9,861	2,521	265	0	—	—	—	—	—	
ピンネシリ温泉施設特別会計	歳入	43,766	34,837	37,801	31,285	33,645	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	歳出	43,732	34,738	37,720	31,225	33,645	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	差引	34	99	81	60	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

■普通会計の目的別決算額

(千円)

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
目的別																	
議会費	59,504	63,358	61,219	61,214	51,238	50,261	45,221	42,327	38,457	38,586	37,927	38,024	53,994	47,315	47,842	47,426	49,450
総務費	511,071	466,997	475,256	460,977	930,197	701,109	327,101	485,193	370,968	366,531	777,882	810,139	511,622	767,475	730,640	721,471	843,419
民生費	914,588	916,376	1,171,601	719,499	750,605	752,731	899,805	902,910	538,603	417,394	419,492	452,273	523,612	657,720	696,137	577,858	547,407
衛生費	453,219	418,845	350,901	316,399	290,945	302,795	314,483	381,172	398,870	409,478	399,368	477,524	453,853	448,782	445,040	435,477	499,237
労働費	408	3,442	1,662	1,278	21,113	27,872	51	2	2	2	17,554	25,528	28,975	2,780	5,123	3,458	3
農林水産費	657,861	595,565	646,755	551,885	612,330	558,775	409,421	262,812	215,237	234,041	226,444	258,783	436,122	239,085	244,945	272,810	258,783
商工費	119,167	207,438	167,802	136,580	129,230	91,298	83,998	87,433	79,192	69,708	63,925	73,362	75,448	90,805	73,631	76,255	89,075
土木費	898,195	1,382,798	1,194,879	1,231,711	1,105,714	841,170	699,307	478,625	461,758	371,797	371,926	342,624	359,011	339,567	299,852	393,158	254,043
消防費	146,222	139,798	156,904	282,143	140,316	145,971	139,778	166,187	133,736	138,084	136,241	135,225	121,915	122,045	185,544	160,897	154,815
教育費	404,346	436,976	416,246	319,058	262,831	234,550	237,469	192,608	188,735	179,764	159,876	152,281	209,903	176,626	162,151	172,633	191,130
災害復旧費	23,918	128,191	167,708	35,116	—	—	—	2,899	21,610	—	—	3,622	18,892	24,718	—	2,473	31,073
公債費	648,970	762,834	745,875	834,139	882,250	840,155	937,342	943,994	942,365	938,870	920,345	940,397	831,305	806,758	720,732	574,638	530,008
総額	4,837,469	5,522,618	5,556,808	4,949,999	5,176,769	4,546,687	4,093,976	3,946,162	3,389,533	3,164,255	3,530,980	3,709,782	3,624,652	3,723,676	3,611,637	3,438,554	3,448,443

■ 徴税額の推移

(千円)

年度	平成	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
町民税(個人)		90,590	90,615	84,819	77,503	76,677	69,194	63,280	64,691	78,570	73,488	76,448	67,615	63,674	62,615	63,114	65,252	69,255
町民税(法人)		19,993	14,581	12,534	11,947	12,362	11,117	10,879	9,109	10,093	10,398	9,073	11,122	8,485	9,552	9,259	8,714	7,889
固定資産税		72,641	70,950	72,481	75,831	70,763	72,904	75,540	71,557	69,512	69,240	67,855	66,357	65,444	62,303	61,843	62,093	60,412
軽自動車税		1,871	2,018	2,162	2,317	2,478	2,629	2,739	2,883	2,919	2,962	3,014	2,953	3,011	3,092	3,000	3,081	3,100
市町村たばこ税		19,021	18,354	17,988	17,153	16,603	16,393	15,367	15,343	14,844	13,262	12,546	12,094	14,569	13,856	15,635	14,880	14,991
鉱産税		121	129	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
入湯税		671	627	594	576	522	537	1,182	1,175	1,299	1,095	1,160	934	1,102	866	827	959	966
総額		204,908	197,274	190,605	185,327	179,405	172,774	168,987	164,758	177,237	170,445	170,096	161,075	156,285	152,284	153,678	154,979	156,613

■ 普通会計の性質別決算額(歳出)

(千円)

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人件費	1,025,340	992,077	984,772	904,706	870,060	822,998	750,038	713,476	607,073	489,055	464,852	473,416	461,336	445,629	470,331	453,707	450,265
うち職員給	723,764	694,421	681,931	620,820	603,568	569,226	506,298	482,274	350,656	321,714	296,786	272,299	278,949	271,898	279,658	278,660	278,858
物件費	432,301	454,635	461,023	459,738	431,503	384,029	370,702	359,366	277,200	256,047	335,618	298,758	299,196	273,648	339,633	381,844	377,918
維持補修費	95,734	82,942	85,390	82,502	66,995	60,738	49,190	57,860	43,487	43,780	43,702	40,862	50,192	51,731	51,309	54,551	45,317
扶助費	296,419	122,363	122,307	131,509	183,318	185,528	171,212	160,071	163,623	169,738	173,099	194,657	215,844	225,576	230,709	252,529	247,982
補助費等	568,983	595,261	616,512	694,360	524,488	466,566	494,881	547,513	565,956	542,239	609,622	601,826	846,020	584,095	641,449	611,051	710,624
公債費	648,965	762,829	745,870	834,135	882,246	840,152	937,340	943,994	942,365	938,870	920,345	940,397	831,305	806,758	720,732	574,638	530,008
積立金	118,460	62,854	8,911	22,707	40,936	341,225	60,014	182,445	34,378	68,963	170,156	366,295	182,574	688,435	600,114	344,730	532,064
投資・出資金・貸付金	36,050	37,169	36,155	36,098	36,439	38,302	36,442	37,913	40,021	48,220	51,209	52,102	50,085	49,532	35,315	40,203	20,041
繰出金	331,474	299,317	243,156	246,519	262,582	286,890	277,485	304,937	331,216	279,005	303,260	340,621	317,342	211,850	215,762	357,831	193,362
投資的経費	1,259,825	1,984,980	2,085,004	1,502,609	1,878,202	1,120,259	946,672	635,688	362,604	328,338	459,117	397,226	351,866	361,704	306,283	364,997	309,789
普通建設事業	1,259,825	1,984,980	2,085,004	1,502,609	1,878,202	1,120,259	946,672	635,688	362,604	328,338	459,117	397,226	351,866	361,704	306,283	364,997	309,789
うち補助	830,616	1,124,327	1,383,935	804,645	959,972	653,156	490,840	194,400	203,675	197,945	102,430	215,175	230,288	250,782	219,997	240,384	198,547
うち単独	429,209	860,653	701,069	697,964	918,230	467,103	455,832	441,288	158,929	130,393	356,687	182,051	121,578	110,922	86,286	124,613	111,242
災害復旧事業	23,918	128,191	167,708	35,116	—	—	—	2,899	21,610	—	—	3,622	18,892	24,718	—	2,473	31,073
総額	4,837,469	5,522,618	5,556,808	4,949,999	5,176,769	4,546,687	4,093,976	3,946,162	3,389,533	3,164,255	3,530,980	3,709,782	3,624,652	3,723,676	3,611,637	3,438,554	3,448,443

■ 普通会計決算状況(歳入)

(千円)

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
町税	204,908	197,274	190,605	185,327	179,405	172,774	168,987	164,758	177,237	170,445	170,096	161,075	156,285	152,284	153,678	154,979	156,613
地方譲与税	65,172	67,496	68,688	69,798	72,398	82,224	85,896	93,693	74,910	71,976	68,782	66,721	64,898	60,539	57,525	54,941	57,295
利子割交付金	2,349	11,191	10,548	3,226	2,111	2,036	1,256	841	1,038	958	808	751	586	469	456	361	272
配当割交付金	—	—	—	—	—	168	306	459	552	187	151	188	195	199	390	745	542
株式等譲渡所得割交付金	—	—	—	—	—	164	396	337	294	134	65	60	51	54	530	396	452
地方消費税交付金	26,260	27,080	25,792	21,949	24,168	26,577	24,763	25,863	24,251	20,967	21,423	21,387	19,837	18,810	18,649	22,864	38,192
自動車取得税交付金	26,654	27,071	29,509	23,408	24,128	23,431	23,989	22,711	22,700	18,153	13,929	13,425	10,968	13,072	14,866	6,850	8,745
地方特例交付金	6,517	9,072	8,131	7,675	6,920	7,016	6,580	4,173	772	2,263	3,392	6,054	6,338	234	308	242	225
地方交付税	2,474,875	2,494,263	2,353,031	2,162,403	2,053,124	1,948,544	2,068,330	2,023,342	2,040,951	2,127,303	2,232,928	2,384,693	2,303,967	2,589,831	2,472,919	2,217,683	2,254,567
交通安全対策特別交付金	606	535	538	—	584	587	551	580	595	509	517	497	—	—	—	—	—
分担金・負担金	31,698	14,552	16,400	17,010	310,110	301,453	297,315	268,592	13,497	14,629	14,545	16,840	16,757	18,160	23,739	28,966	27,994
使用料・手数料	132,145	130,489	127,233	124,557	125,985	123,656	126,088	116,265	111,041	98,777	92,171	95,752	92,379	89,761	133,650	130,985	121,935
国庫支出金	493,614	665,117	672,440	522,093	545,319	401,961	251,065	158,516	174,131	217,121	391,364	372,219	240,754	206,271	221,697	170,567	222,339
国有提供施設等 所在市町村助成交付金	—	—	—	200	200	200	200	200	200	200	200	300	300	300	300	300	300
道支出金	544,348	564,249	571,807	478,014	267,123	266,114	227,753	147,341	126,544	137,361	137,099	173,084	188,884	161,280	167,821	193,906	156,880
財産収入	22,208	26,085	15,267	14,253	25,019	15,163	24,521	35,114	16,163	17,181	16,640	15,696	16,484	14,573	12,030	11,465	11,706
寄付金	10,484	8,275	5,744	6,277	12,263	5,861	5,766	5,027	584	3,942	1,965	1,040	291	1,322	3,458	1,746	6,838
繰入金	37,706	141,961	51,505	134,225	480,253	400,551	35,187	278,352	284,559	32,299	77,317	27,425	37,264	20,490	15,518	22,766	122,037
繰越金	87,295	96,803	141,600	68,569	23,654	58,932	29,397	54,557	27,760	11,115	63,683	88,473	118,643	143,602	111,303	138,758	64,996
諸収入	86,013	40,925	70,560	93,248	78,137	64,872	63,787	48,801	49,769	76,318	74,878	71,188	228,631	56,627	50,473	38,627	55,553
町債	681,420	1,141,780	1,265,979	1,041,421	1,004,800	673,800	706,400	524,400	253,100	206,100	237,500	311,557	264,742	287,101	291,085	306,403	275,939
総額	4,934,272	5,664,218	5,625,377	4,973,653	5,235,701	4,576,084	4,148,533	3,973,922	3,400,648	3,227,938	3,619,453	3,828,425	3,768,254	3,834,979	3,750,395	3,503,550	3,583,420



中頓別町役場
総務課 住民グループ

TEL 01634-6-1111 / FAX 01634-6-1155

Mail toukei@nakatombetsu.lg.jp

平成 29 年 2 月発行